

# ありまつ

2016.11  
No.24

## 安心して下さい 急病、そして入院から退院、 在宅支援、看取りまで支援させていただきます

看護部

看護部長

島谷 初枝

当院は33年前の1983年に開設し、急性期医療を担ってきました。急性期医療の体制を整える傍ら、患者様の退院後の医療、介護サービスへのニーズも考慮した取組を続けてまいりました。

しかしながら、超高齢化社会の現在、退院後も在宅での療養が難しい患者様がすぐに介護施設に入所できないのが現状です。その間を繋ぐ中間的な役割を果たす病棟として、2014年9月に病棟の一部50床を地域包括ケア病棟に転換いたしました。

地域包括ケア病棟では、急性期治療を終了し、退院に向けて医療やリハビリテーションが必要な方などの退院支援を行います。また在宅療養中に状態が悪化し、医療が必要な場合はすぐ急性期病棟に入院する事が出来ます。

その結果、急性期病棟から地域包括ケア病棟、在宅へと切れ目のないサービス提供が出来るようになりました。在宅医療においては1人1人の生活環境にあった選択肢があり、自宅の場合は訪問診察、訪問看護でつなげることができ、また関連施設においてはゆうけあ相河（特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、小規模多機能、グループホーム）がある他、連携介護施設（悠悠泉本町、清泉の宿あんず館など）に訪問診察を行っています。介護施設の連携により、医療、介護、看取りまでお手伝いする事が出来、次に行く場所をご家族様が探さなくてもよくなりました。

患者様の要求から『その人らしさ』を追求し、退院した後も安心して療養生活が続けられるよう多職種の医療スタッフが連携しながら、住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう支援させていただきます。



# 皆でつなく・ ささえる在宅支援

介護部  
主任

木村 和美

当病院では地域包括ケア病棟を設け、急性期病棟からの受け入れはもちろん、地域の方のニーズに応じて、在宅医療の受け入れや在宅復帰に向け支援させて頂いています。

「退院後、独りだけの介護は大変。どうしたらいいのか。」「出来るだけ一人暮らしを続けたい。だけど自信が無い…」など入院前と状態が変わってしまった場合、不安な気持ちになる方も多くいらっしゃると思います。こういった場合に当病院の職員である介護支援専門員(ケアマネジャー)が担当させて頂いています。在宅支援においては、介護申請が必要になりますが、申請の代行から支援内容の提案やプランニングまで、病棟と連携しスムーズに在宅生活に移行できるよう支援しています。

当病院との関連施設として、通所リハビリテーション(デイケア)を始め、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護(ショートステイ)、通所介護(デイサービス)、小規模多機能型居宅介護、グループホームと提携し退院後も安心して過ごさせて頂いています。

## \* 訪問看護ステーション

医師の指示のもとで、自宅に伺い看護支援を行う。

病状の観察・清潔、排泄の介助・褥瘡(床ずれ)、導尿などの医療処置

## \* 通所リハビリテーション

自宅まで送迎し、リハビリテーション、食事、入浴支援を受ける事により、心身の機能回復をはかり、日常生活の自立を助ける事を目的とする。

## \* 特別養護老人ホーム

要介護状態の方に対し(要介護3以上)、施設サービス計画に基づいて、入浴や排せつ、食事などの介護、相談援助、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理および療養上の世話を行う。

### \* 短期入所生活介護(ショートステイ)

短期間、介護保険施設に宿泊し、食事や入浴等の介護や機能訓練が受けられる。

### \* 通所介護(デイサービス)

日帰りで介護施設に通い、入浴や食事の提供、生活等に関する相談・助言、健康状態の確認、その他の日常生活の世話、機能訓練を受け、生きがいを高めたり、体の機能の維持を図るとともに、介護にあたる家族の疲労軽減を目的としたサービス。

### \* グループホーム

認知症と診断された方が、家庭的な雰囲気の中で共同生活を営む。

### \* 小規模多機能型居宅介護

「通い」を中心に家庭状況に合わせて「泊り」や「訪問」など柔軟な対応を行う。

### \* 介護ショップありまつ

車椅子、歩行補助つえ、ベッドなどをレンタルもしくは購入出来、生活環境を整える。  
住宅改修の相談も対応している。

また、有料老人ホームとも連携しており、当院の医師による訪問診察も対応しています。もちろん入院が必要になった場合は、金沢有松病院で十分な治療を受ける事も出来ます。在宅での看取りをご希望される方もいらっしゃいます。ご自宅での看取りはどんなに覚悟を決めても、不安は尽きないと思います。何時でも相談対応が出来るよう、訪問看護師が定期的に自宅に伺い、最後まで寄り添う事もしています。ご本人様はもちろんご家族様も安心して最後まで任せて頂けるよう意向に添い、病状や生活状況に応じた対応を心がけています。  
これからもより一層、当病院スタッフ一同で全力を尽くして行きたいと思っております。



# 連携されたリハビリ テーションセンター

リハビリテーションセンター  
技士長 山田 叔子

地域包括ケア病棟では、リハビリテーションスタッフのうち理学療法士を病棟専従で配置しています。この専従理学療法士は毎朝、病棟で看護師と話し合いをもち、患者様の日常生活が拡大できるよう相談、リハビリテーションをすすめるにあたって、より安全にできるよう体調などの確認、また、他の理学療法士や作業療法士に必要な情報を伝えたりしています。病棟専従になるとより密接に患者様と関わることができます。また、退院先を見据えた提案や指導も容易となり、当院では自宅退院するにあたり、住宅改修が必要な場合は居宅介護支援事業所ありまつや介護ショップありまつの職員とともに患者様の自宅へ訪問し、その方にあった改修や福祉用具を助言しています。

急性期を過ぎた患者様や在宅・介護施設などの患者様であって急性増悪した場合に対しても十分な治療は行えますが、加えてリハビリテーションの充実を図ることで身体機能を回復させ、退院を円滑に目指すことが可能となります。

例えば内科的な治療が終了しても、日常生活の介助量が増えたままでは自宅にもどるには困難なことがあります。このような方にも必要なリハビリテーションを集中的に行っており、患者様 1 人あたり 1 日で 40-80 分間実施しています。

また、年末年始やゴールデンウィーク等の連休でも途切れることのないようリハビリテーションを提供しています。

## 診療科目

- 内科
  - ・循環器内科
  - ・呼吸器内科
  - ・消化器内科
  - ・内視鏡内科
  - ・肝臓内科
  - ・腎臓内科
  - ・人工透析内科
  - ・内分泌内科
  - ・糖尿病代謝内科
  - ・漢方内科
- 外科
  - ・消化器外科
  - ・内視鏡外科
  - ・乳腺外科
  - ・肛門外科
  - ・内分泌外科
  - ・心臓血管外科
  - ・呼吸器外科
  - ・麻酔科
- 整形外科
  - ・リウマチ科
  - 皮膚科
  - 泌尿器科
  - 脳神経外科
  - 婦人科
  - 放射線科
  - リハビリテーション科
  - 人間ドック
  - 各種検診
  - 協会けんぽ健診

## 診療時間

- 平日 AM 8:30 ~ PM 7:00
- 水曜日 AM 8:30 ~ PM 1:00
- 土曜日 AM 8:30 ~ PM 3:00
- 日・祝休診

\*ただし、かかりつけの方および緊急時は随時診療いたします。

# 金沢有松病院と ゆうけあ相河の連携

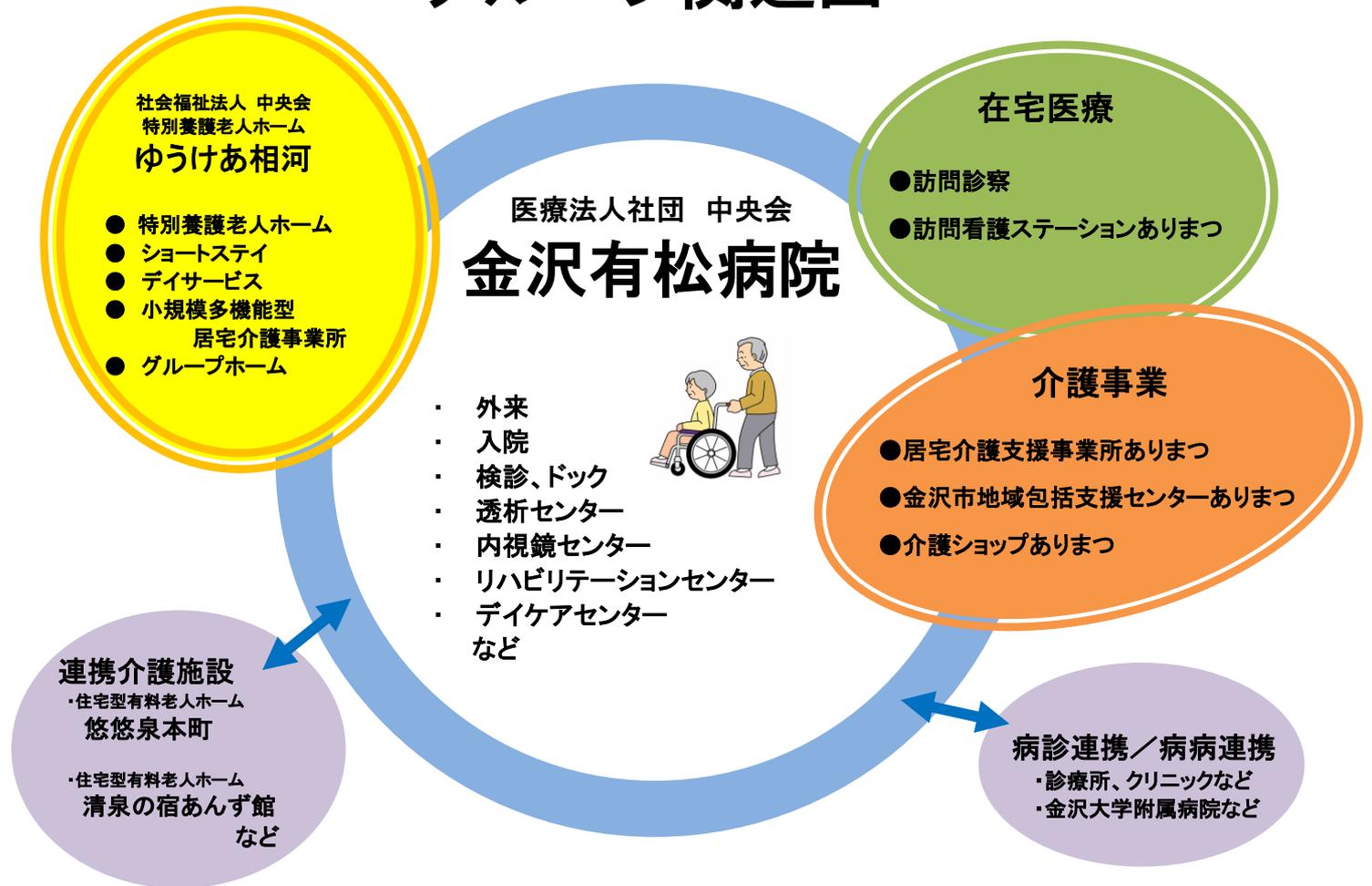
特別養護老人ホーム  
ゆうけあ相河  
施設長 田中 和子

金沢有松病院の「患者様の面倒を最後までみさせて頂く」という信念の下、社会福祉法人中央会を設立し、2010年から、地域の高齢者福祉の拠点として、2つの入居施設(特別養護老人ホーム・グループホーム)と3つの在宅サービス(ショートステイ・デイサービス・小規模多機能型居宅介護)を整備してまいりました。

金沢有松病院の“医療”と、ゆうけあ相河の5事業所と連携介護施設での“暮らし”が連携し、地域の高齢者を支援しています。まさに、厚労省の「重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築」を地域において率先して行なってきたと言えます。

2014年に金沢有松病院の急性期病棟の一部が地域包括ケア病棟に転換したことはゆうけあ相河にとっても大きな転換になりました。施設では医療度の高い利用者様を多く抱えており緊急入院も頻回にありますが、「在宅・生活復帰支援機能の明確な地域包括ケア病棟」では、施設での受け入れを考慮した細やかな退院支援をして頂けます。施設という暮らしの場に帰す退院支援に早期のうちから施設が参加できるようになりました。施設が病院と顔が見える身近な関係があれば入院中であっても入居者様との関係が途切れずに継続できます。経過も確認しやすく、入院が長期化すると生じる「施設に帰れるのだろうか。」など様々な不安に対しての支援ができます。終末期ケアに対するご本人やご家族の意向も施設から病院に情報提供できることもあります。また、施設で対応不可能な医療上の処置(たとえば看護師不在時間のインシュリン注射)があった場合は早い段階から代替策を講ずることができます。そして退院して施設に戻られた時には、退院時の情報により施設ケアプランの変更修正を速やかに行なえます。

# グループ関連図



地域包括ケア病棟にとって介護保険事業所は在宅復帰を行なう上で欠かせないサービスです。そしてゆうけあ相河にとっても看取りや医療必要度の高い利用者様がますます増えていくなか医療との連携は不可欠です。

双方の良好な医療・介護の連携はさらに重要性を増していくと思われます。

今後も、地域の高齢者の方が医療と介護の切れ目のない支援を享受しながら地域で安心して暮らすことができるように支援してまいります。

